



FRRIENDS

山梨県立かえで支援学校相談・支援部通信 第86号〈令和6年4月発行〉

♪「フレンズ」は、かえで支援学校の校歌(杉本竜一氏作)です。本校 HP でお聴きください。

ごあいさつ

校長 荒川 昌浩

特殊教育が特別支援教育という制度になって17年、国が「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」という理念を掲げてから11年が経過しました。本来、「インクルーシブ教育システムの構築の理念が浸透する」＝「特別支援学校在籍者数は減少する」という方程式が成立するはずなのに、今年度も本校の在籍者数は増えてしまいました。「インクル」は浸透していないようです。特に小学部の増加が顕著です。小学部1年生に19人が入学し、中途転入が4人いました。その結果、小学部は105人という大所帯になってしまっています。

今年度の本校相談・支援部は、地域に「インクル」の理念が根付いていくための活動を中心に展開していくつもりです。従って、「インクル」実現に向けて奮闘している次のケースを中心に応援していきます。

- ・特別支援学校に就学する程度の障害で特別支援学級に在籍しているケース
- ・特別支援学級に在籍する程度の障害で通常の学級に在籍しているケース
- ・高等学校で困難を抱えているケース

中学校の進路指導について一言。

地域の中学3年生及びその保護者・担任の先生には常々こんな話をしています。

- ・本校は知的障害特別支援学校です。高等部卒業後の進路は原則就労（一般就労・福祉就労）です。大学進学に向けた教育課程は組んでいません。もし、大学や専門学校への進学を考えているのであれば高等学校への進学をお勧めします。事実、中学校特別支援学級在籍者の6割近くは高校へ進学しています。
- ・一般就労を目指すのであれば、高等支援学校桃花台学園への進学をお勧めします。桃花台学園では専門学科を設置しており、一般就労に特化した教育課程を組んでいます。
- ・本校高等部にも進級や卒業認定の規程があります。出席日数が基準を満たさない場合、退学になることもあります。毎日の登校が難しい場合は通信制高等学校への進学をお勧めします。
- ・毎年高等部入学後、『本当はかえでの高等部には進学したくはなかったんだ』という生徒が現れます。本校高等部を受検するに当たっては、生徒さん本人の意思を必ず確認してください。是非、適切な進路指導をお願いいたします。



今年もよろしく
お願いします。

◇本校の「相談・支援部」担当です◇

伊藤 由紀 山口 麻衣 保坂 沙織 手塚 真由子